

新たな甲府市総合計画策定のための
**甲府市事業所アンケート調査
結果報告書**

平成27年2月

《目次》

I. 調査の概要.....	1
1. 目的.....	1
2. 調査方法.....	1
3. 調査項目.....	1
4. 回収結果.....	1
5. 報告書の見方.....	1
II. 調査の結果.....	2
1. 事業所について.....	2
2. 甲府市での事業について.....	4
(1) 事業のしやすさ.....	4
(2) 事業展開での利点.....	5
(3) 事業の継続意向.....	6
(4) 今後の事業展開の方向性.....	7
3. 甲府市のこれからのまちづくりについて.....	8
(1) 未来に活かしていきたい甲府市の魅力.....	8
(2) 対応を求められる時代潮流.....	10
(3) 商工業の振興への取組み.....	11
(4) リニア中央新幹線の開業への期待.....	12
4. 事業所の社会貢献活動について.....	14
(1) 社会貢献活動への取組み.....	14
(2) 事業者と行政の連携.....	16
5. 甲府市のまちづくりへの提案.....	17

I. 調査の概要

1. 目的

この調査は、第五次甲府市総合計画（平成 18 年度策定）が平成 27 年度で終了することから、新たな総合計画の策定に向けた調査・検討の一環として、事業者の皆様のお考えを伺うために実施しました。

2. 調査方法

- (1) 調査期間 平成 26 年 10 月
- (2) 調査対象 市内に所在する事業所
- (3) 対象者数 89 事業所
- (4) 抽出方法 市内に所在する甲府商工会議所議員事業所を抽出
- (5) 調査方法 郵送による配布・回収

3. 調査項目

- (1) 事業所について
- (2) 甲府市での事業について
- (3) 甲府市のこれからのまちづくりについて
- (4) 貴事業所の社会貢献活動について
- (5) 甲府市のまちづくりへの提案（自由意見）

4. 回収結果

- (1) 配布数 89 票
- (2) 回収数 61 票
- (3) 回収率 68.5%
- (4) 有効回答数 61 票

5. 報告書の見方

- ・図表中の（n＝＊）は集計母数を表しています。
- ・回答の比率（％）は、各設問の回答者数を母数として算出しているため、複数回答の設問については、選択肢ごとの比率を合計すると 100％を超えることがあります。
- ・回答の比率（％）は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、属性ごとの回答比率の合計が 100％にならないことがあります。
- ・図表中の上段は実数（人）、下段は比率（％）を表しています。
- ・【市民との比較】については、別途実施した市民アンケート調査結果と比較しています。

Ⅱ. 調査の結果

1. 事業所について

(①～④それぞれについて○印は1つ)

①従業者数（パート・アルバイト等を含む） ②本店・支店の種類 ③市内での営業開始時期
④業種

①従業者数

従業者数については、「100～199人」が24.6%で最も多く、このほか「300人以上」が16.4%、「10～19人」が13.1%となっています。

項目 属性	全体	1 ～ 4 人	5 ～ 9 人	10 ～ 19 人	20 ～ 29 人	30 ～ 39 人	40 ～ 49 人	50 ～ 99 人	100 ～ 199 人	200 ～ 299 人	300 人 以上
実数	61	0	6	8	4	2	2	7	15	7	10
比率 (%)	100.0	0.0	9.8	13.1	6.6	3.3	3.3	11.5	24.6	11.5	16.4

②本店・支店の種類

本店・支店の種類については、「本社・本店」が63.9%で最も多く、「単独事業所」が24.6%、「支社・支店」が11.5%となっています。

項目 属性	全体	単 独 事 業 所	本 社 ・ 本 店	支 社 ・ 支 店	そ の 他
実数	61	15	39	7	0
比率 (%)	100.0	24.6	63.9	11.5	0.0

③市内での営業開始時期

市内での営業開始時期については、高度経済成長より前の「昭和29年以前」が49.2%で最も多く、このほか、東京オリンピック以降の「昭和40年代」が16.4%、バブル期を含む「昭和60年～平成6年」が14.8%となっています。

項目 属性	全体	昭和29年以前	昭和30年代	昭和40年代	昭和50年代	昭和60年～平成6年	昭和60年～平成7年	平成17年以降
実数	61	30	6	10	3	9	3	0
比率 (%)	100.0	49.2	9.8	16.4	4.9	14.8	4.9	0.0

④業種

業種については、「卸売業、小売業」が24.6%で最も多く、「建設業」が11.5%、「金融業、保険業」が9.8%で続きます。

項目 属性	全体	建設業	製造業	給・水道業	電気・ガス・熱供給	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	研究・専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業(※)、娯楽業
実数	61	7	2	2	5	0	15	6	3	3	4	1	
比率 (%)	100.0	11.5	3.3	3.3	8.2	0.0	24.6	9.8	4.9	4.9	6.6	1.6	

項目 属性	教育、学習支援業	医療、福祉	その他
実数	1	1	11
比率 (%)	1.6	1.6	18.0

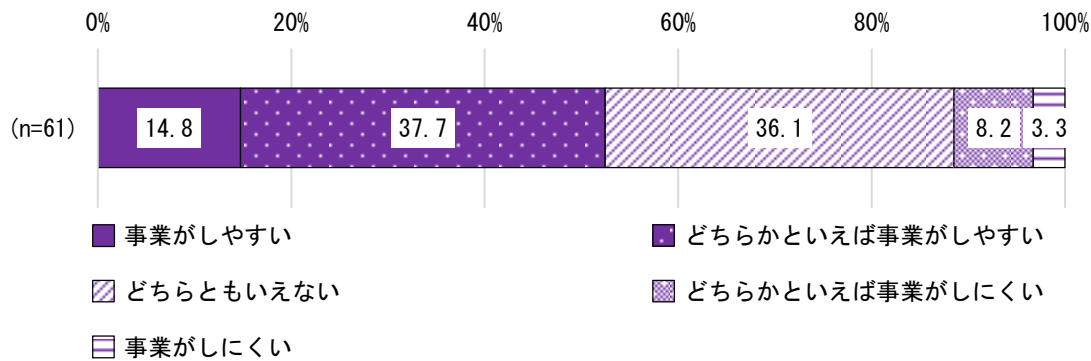
(※) 洗濯、理容、美容、旅行業などを指す。

2. 甲府市での事業について

(1) 事業のしやすさ

問1. 貴事業所にとって、甲府市は事業がしやすい都市だと思いますか。(〇印は1つ)

<全体>



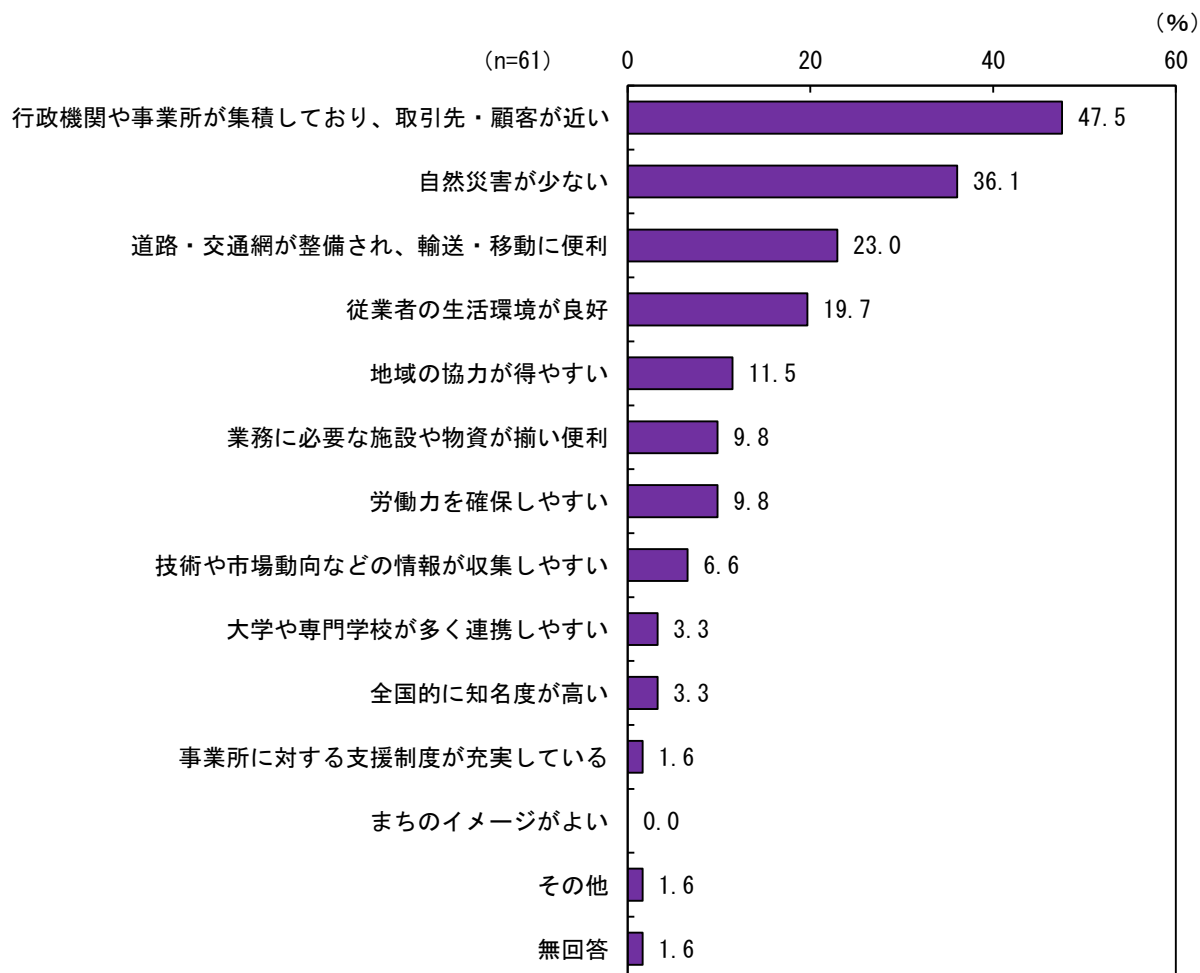
◆甲府市を事業がしやすい都市と思う事業所は約半数

甲府市での事業のしやすさとしては、「どちらかといえば事業がしやすい」が 37.7%で最も多く、「事業がしやすい」が 14.8%となっており、これらを合計した、事業がしやすいと思う層は 52.5%となっています。一方、「どちらかといえば事業がしにくい」と「事業がしにくい」を合計した、事業がしにくいと思う層は 11.5%となっています。

(2) 事業展開での利点

問2. 貴事業所が、甲府市で事業展開するうえで、良い点は何ですか。(〇印は2つまで)

<全体>



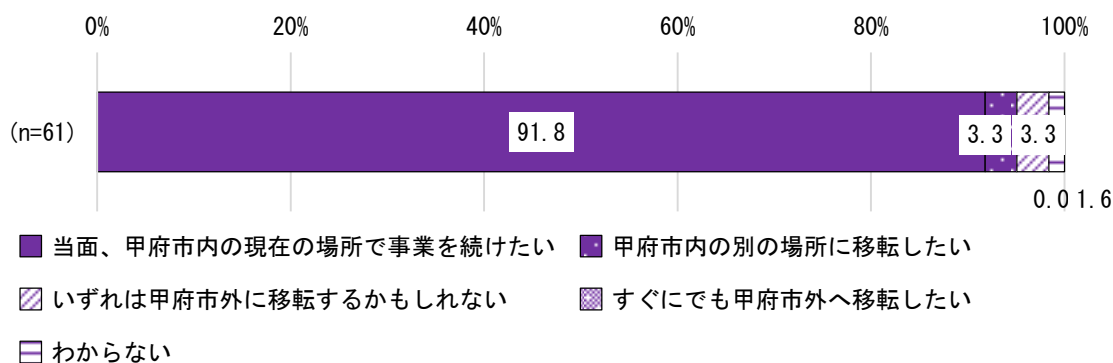
◆取引先・顧客の近さ、自然災害の少なさが良い点

甲府市で事業展開するうえで良い点については、「行政機関や事業所が集積しており、取引先・顧客が近い」が 47.5%で最も多く、次いで「自然災害が少ない」が 36.1%となっています。このほか、「道路・交通網が整備され、輸送・移動に便利」が 23.0%、「従業員の生活環境が良好」が 19.7%で続きます。

(3) 事業の継続意向

問3. 貴事業所は、甲府市内で事業を続けたいと思いますか。(〇印は1つ)

<全体>



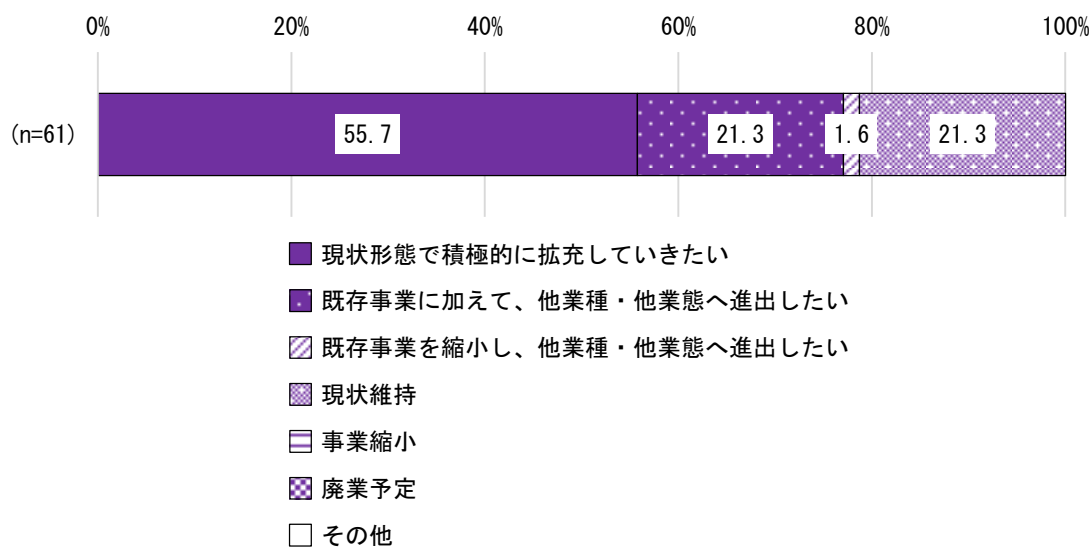
◆甲府市内での事業継続意向のある事業所は、90%を超える

甲府市内での事業の継続意向については、「当面、甲府市内の現在の場所で事業を続けたい」が 91.8%に達しています。また、「いずれは甲府市外に移転するかもしれない」は 3.3%、「すぐにでも甲府市外へ移転したい」と回答する事業所はありません。

(4) 今後の事業展開の方向性

問4. 貴事業所は、今後の事業展開の方向性についてどのように考えていますか。(○印は1つ)

<全体>



◆事業を積極的に拡充していきたい事業所が半数を超える

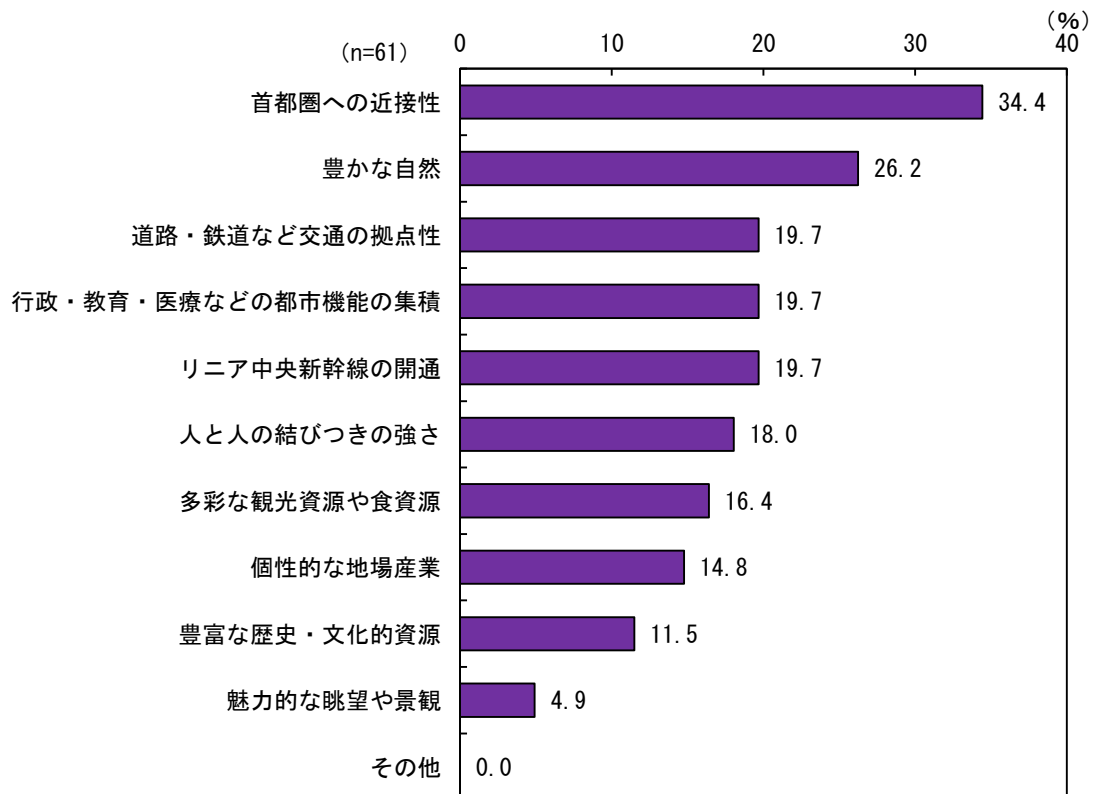
今後の事業展開の方向性については、「現状形態で積極的に拡充していきたい」が 55.7%で最も多く、このほか、「既存事業に加えて、他業種・他業態へ進出したい」と「現状維持」がそれぞれ 21.3%となっています。「事業縮小」や「廃業予定」と回答する事業所はありません。

3. 甲府市のこれからのまちづくりについて

(1) 未来に活かしていきたい甲府市の魅力

問5. 貴事業所から見た未来に活かしていきたい甲府市の魅力とは何ですか。(〇印は2つまで)

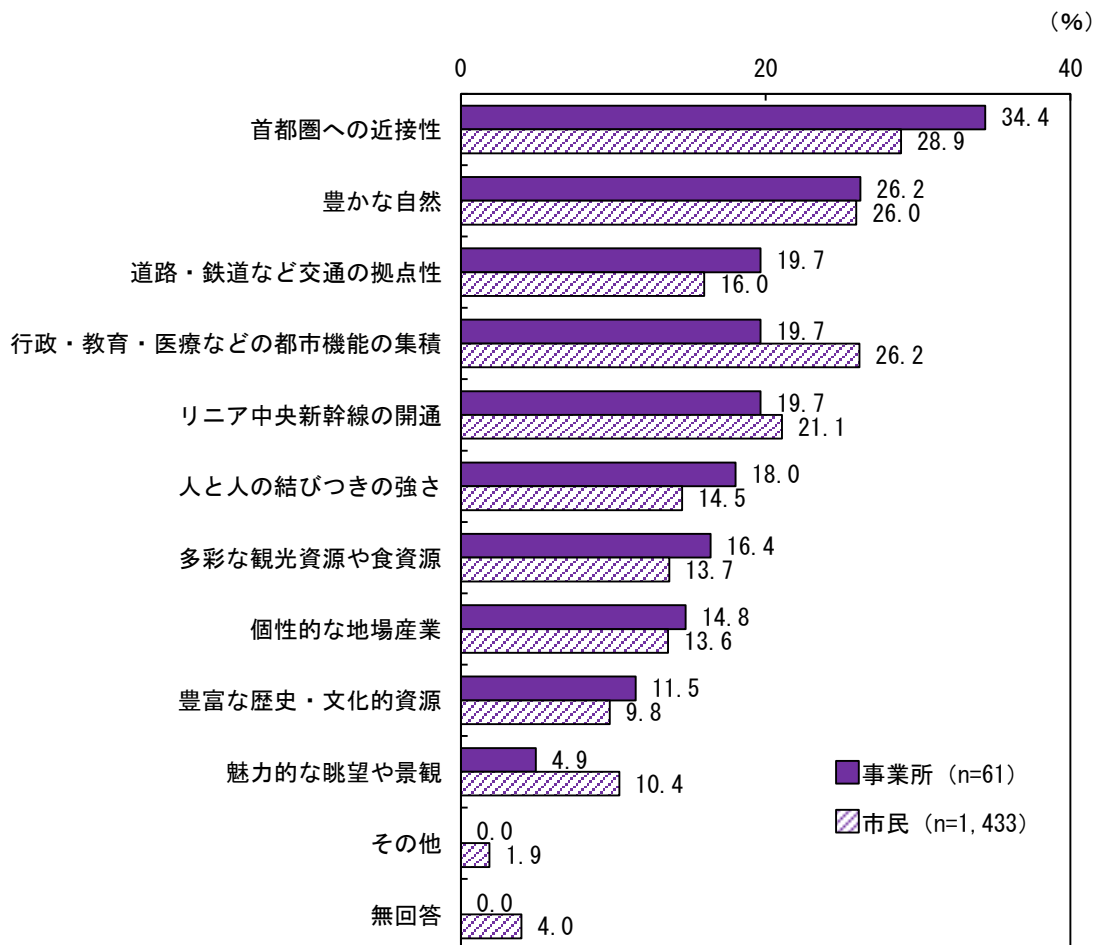
<全体>



◆未来に活かしていきたい甲府市の魅力は、首都圏への近接性が最も多い

未来に活かしていきたい甲府市の魅力としては、「首都圏への近接性」が 34.4%で最も多く、「豊かな自然」が 26.2%で続きます。このほか、「道路・鉄道など交通の拠点性」「行政・教育・医療などの都市機能の集積」「リニア中央新幹線の開通」がそれぞれ 19.7%となっています。

【市民との比較】

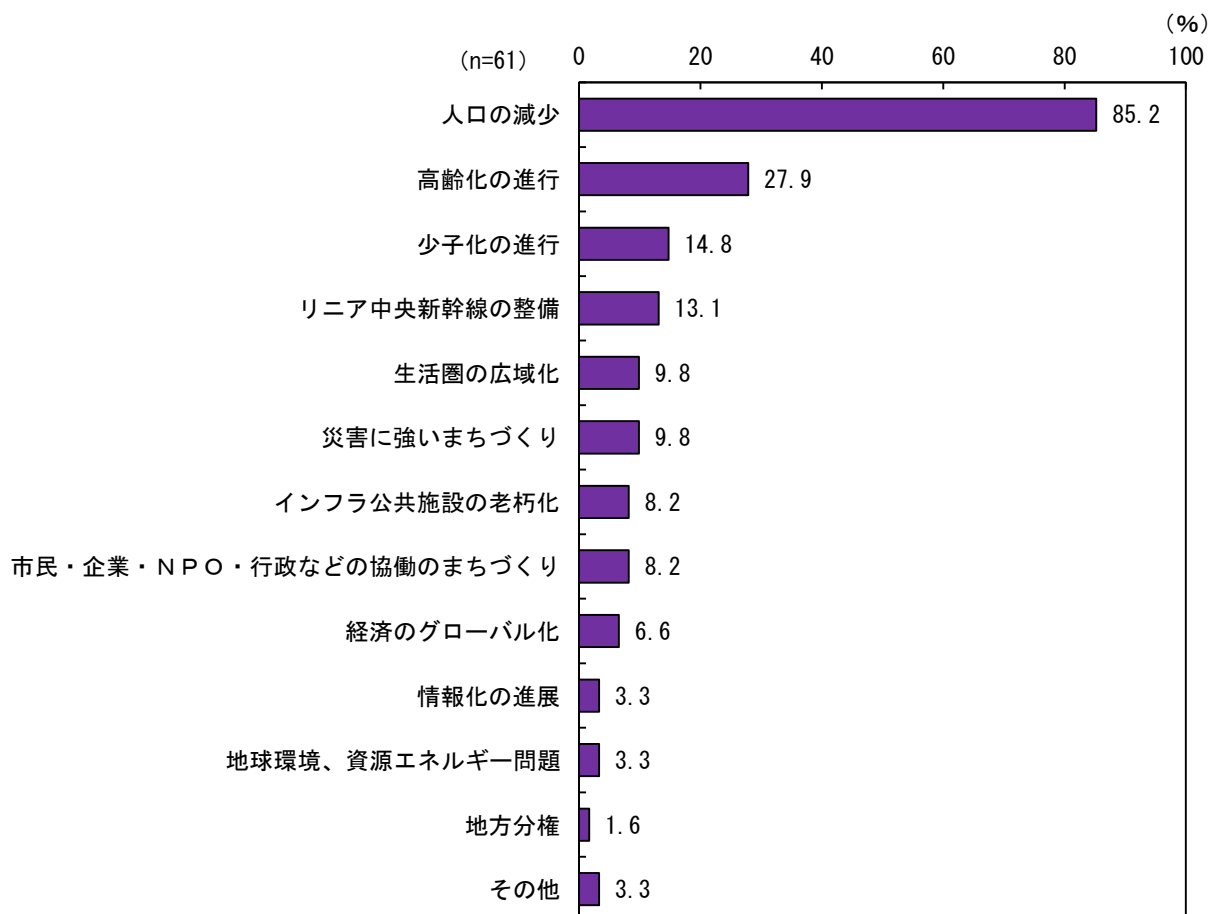


市民と比較すると、最も多い項目は同様ですが、「豊かな自然」が第2位となっています。一方、市民で第2位となった「行政・教育・医療などの都市機能の集積」については6.5ポイント下回っています。

(2) 対応を求められる時代潮流

問6. 貴事業所から見て、今後、甲府市が特に対応を求められる時代潮流は何ですか。
(○印は2つまで)

<全体>



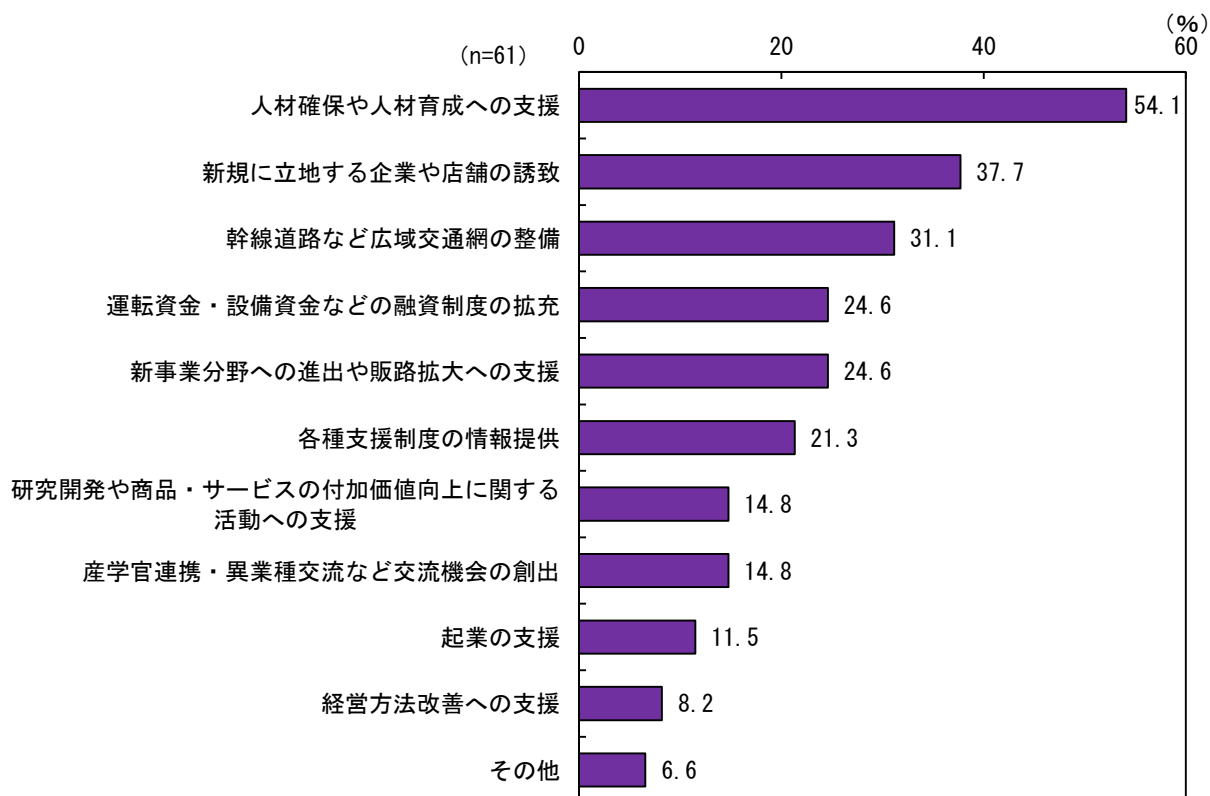
◆今後特に対応が求められるのは人口減少

甲府市が特に対応を求められる時代潮流としては、「人口の減少」が 85.2%で最も多くなっています。このほか、「高齢化の進行」が 27.9%、「少子化の進行」が 14.8%、「リニア中央新幹線の整備」が 13.1%で続きます。

(3) 商工業の振興への取組み

問7. 貴事業所は、甲府市の商工業の振興に関する取組みとして、どのようなことが重要だと思いますか。(〇印は3つまで)

<全体>



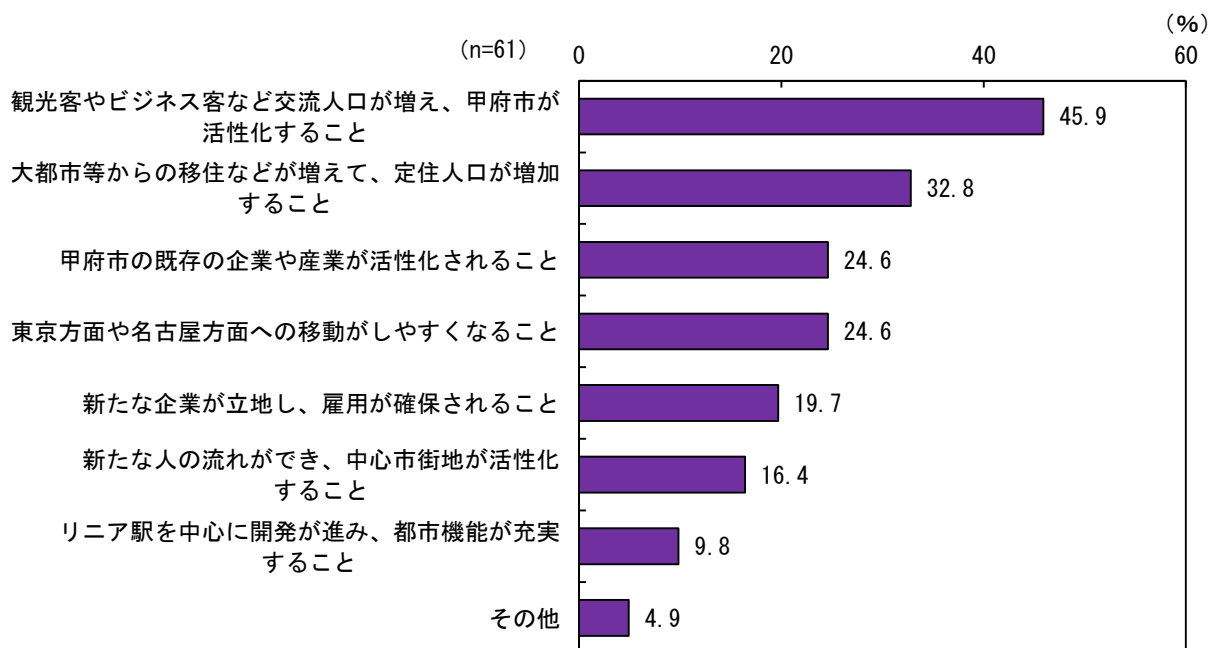
◆商工業振興には人材の確保・育成が最も重要

甲府市の商工業の振興に関する取組みで重要なこととしては、「人材確保や人材育成への支援」が 54.1%で最も多く、「新規に立地する企業や店舗の誘致」が 37.7%、「幹線道路など広域交通網の整備」が 31.1%で上位に入っています。

(4) リニア中央新幹線の開業への期待

問8. 貴事業所が、リニア中央新幹線の開業に期待することは何ですか。(〇印は2つまで)

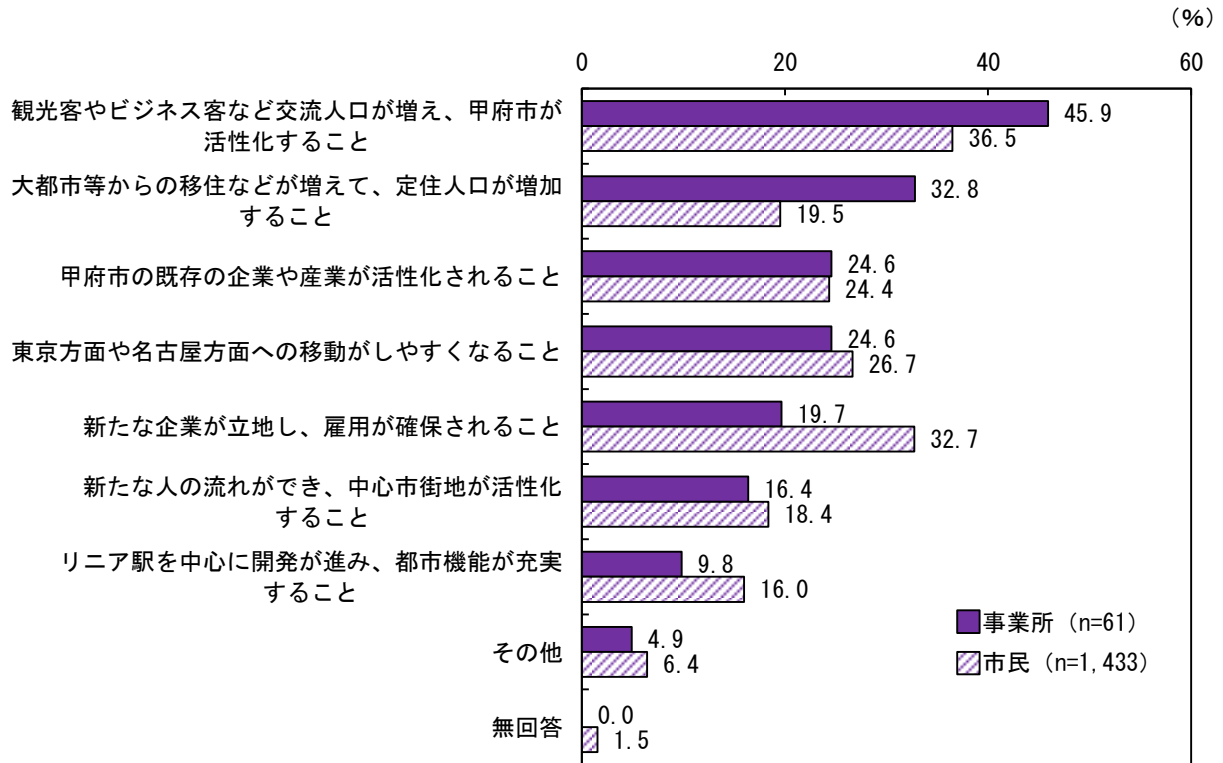
<全体>



◆リニア開業への期待は、交流人口や定住人口の増加が多い

リニア中央新幹線の開業に期待することとしては、「観光客やビジネス客など交流人口が増え、甲府市が活性化すること」が 45.9%、「大都市等からの移住などが増えて、定住人口が増加すること」が 32.8%となっています。「甲府市の既存の企業や産業が活性化されること」と「東京方面や名古屋方面への移動がしやすくなること」がそれぞれ 24.6%で続きます。

【市民との比較】



市民と比較すると、最も多い項目は同様ですが、「大都市等からの移住などが増えて、定住人口が増加すること」が第2位となっており、13.3ポイント上回っています。一方、市民で第2位となった「新たな企業が立地し、雇用が確保されること」については、13.0ポイント下回っています。

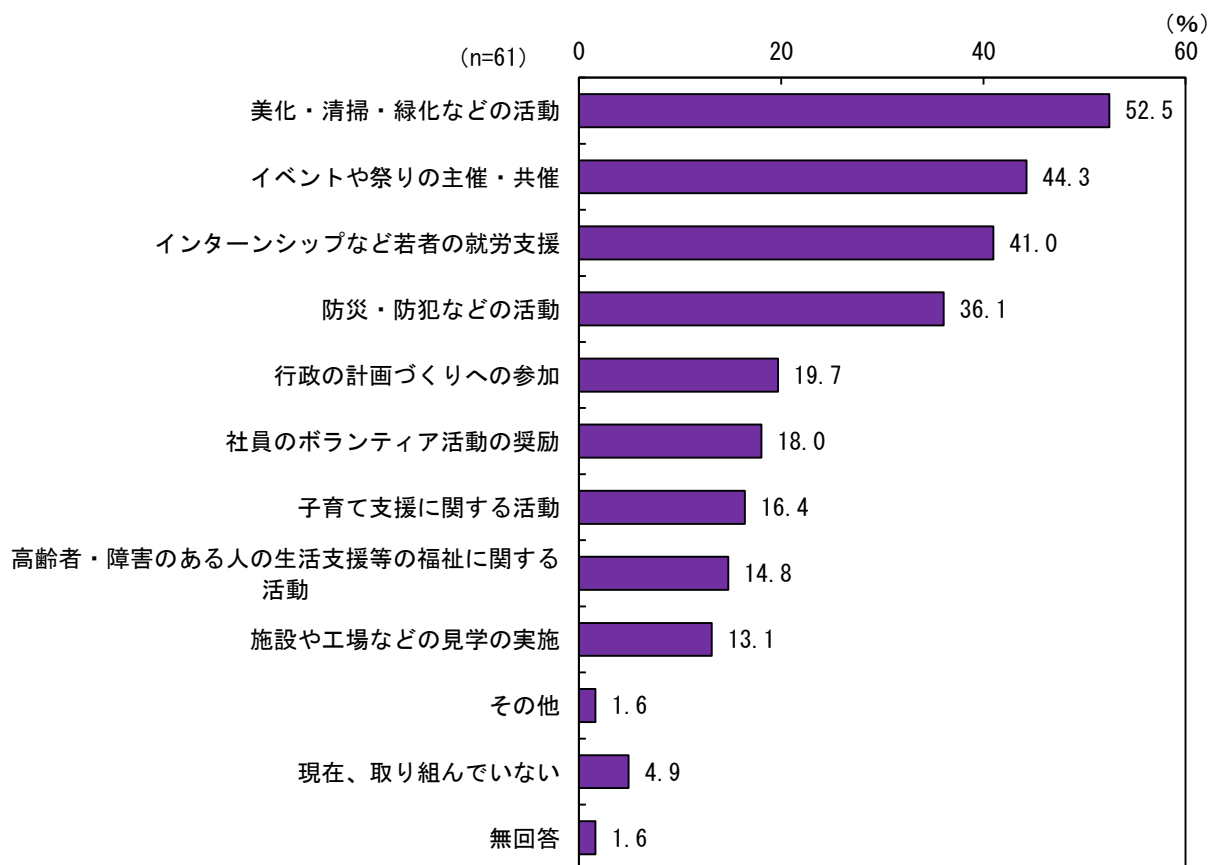
4. 事業所の社会貢献活動について

(1) 社会貢献活動への取組み

問9. 貴事業所は、甲府市において、現在どのような社会貢献活動に取り組んでいますか。
また、今後どのような社会貢献活動に力を入れたいと思いますか。

ア. 現在、取り組んでいる社会貢献活動（○印はあてはまるもの全て）

<全体>

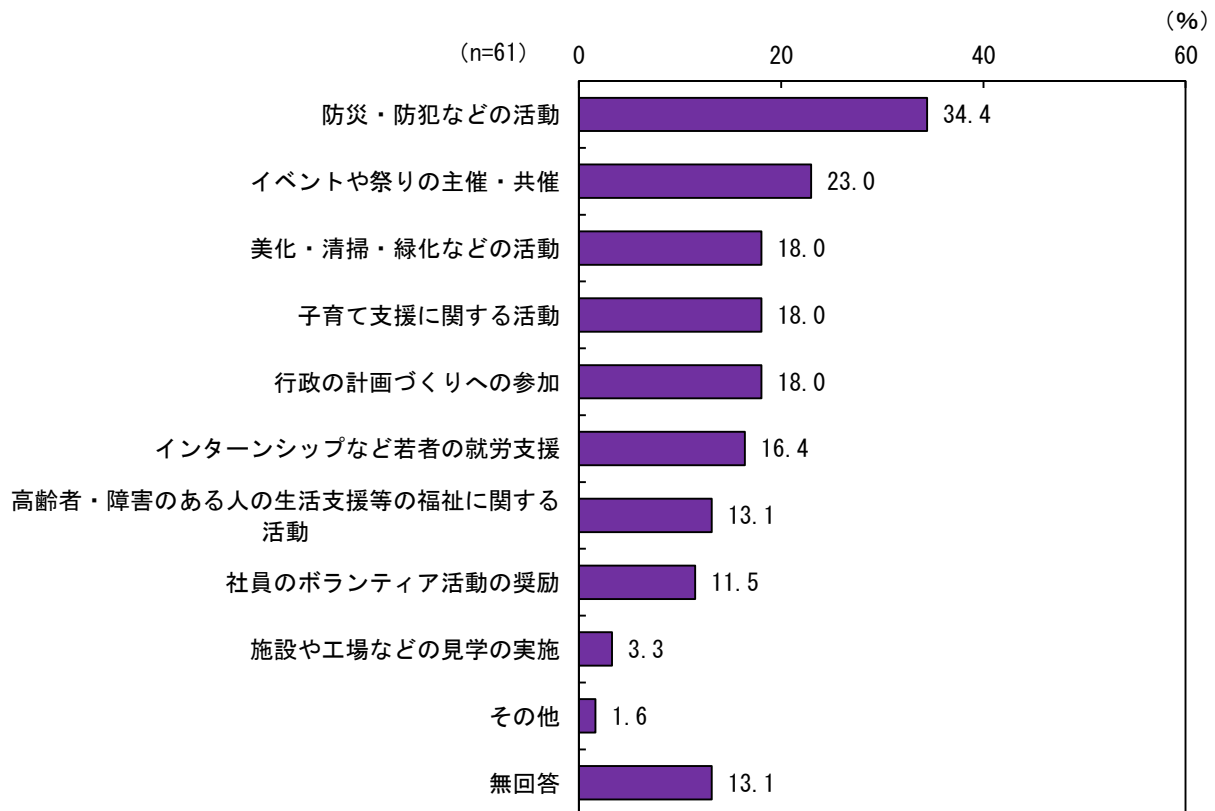


◆現在取り組んでいるのは、美化活動、イベントの開催、若者の就労支援が多い

現在、取り組んでいる社会貢献活動としては、「美化・清掃・緑化などの活動」が 52.5%で最も多く、「イベントや祭りの主催・共催」が 44.3%、「インターンシップなどの若者の就労支援」が 41.0%、「防災・防犯などの活動」が 36.1%で上位となっています。

イ. 今後、力を入れたい社会貢献活動（○印は2つまで）

<全体>



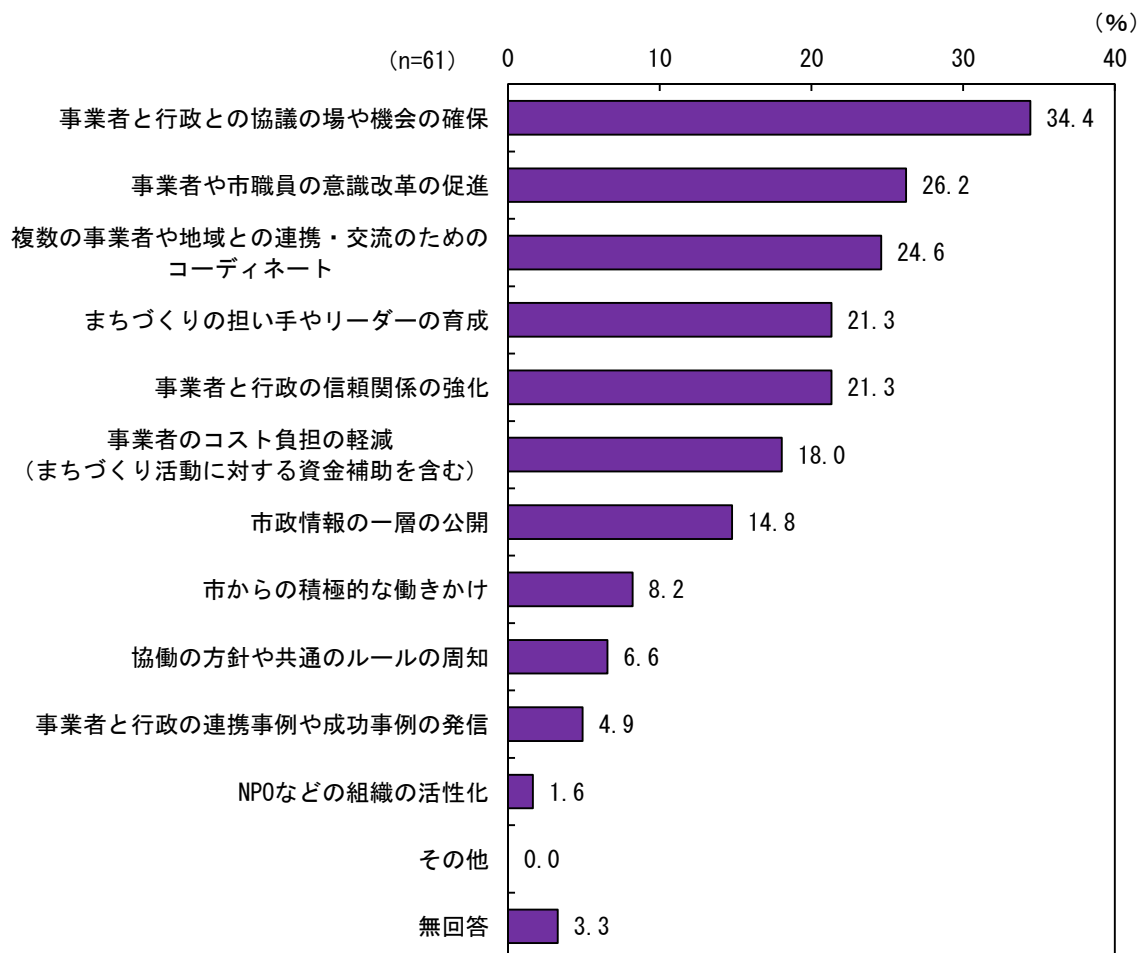
◆今後力を入れたいのは、防災・防犯などの活動やイベントの開催が多い

今後、力を入れたい社会貢献活動としては、「防災・防犯などの活動」が 34.4%で最も多く、「イベントや祭りの主催・共催」が 23.0%となっています。このほか、「美化・清掃・緑化などの活動」「子育て支援に関する活動」「行政の計画づくりへの参加」がそれぞれ 18.0%となっています。

(2) 事業者と行政の連携

問 10. 社会貢献活動に参加しやすくし、より一層、**事業者と行政の連携**を進めていくためには、今後行政において**どのような取組みが必要**だと思いますか。(〇印は2つまで)

<全体>



◆事業者と行政との協議の機会確保、意識改革の促進、連携・交流のコーディネートが上位

事業者と行政の連携を進めていくために、今後行政に必要な取組みとしては、「事業者と行政との協議の場や機会の確保」が34.4%で最も多く、「事業者や市職員の意識改革の促進」が26.2%、「複数の事業者や地域との連携・交流のためのコーディネート」が24.6%で続きます。

5. 甲府市のまちづくりへの提案

甲府市の未来のまちづくりについて、ご意見やご提案をご自由にお書き下さい。

アンケートの回答者 61 事業所のうち、16 事業所 (26.2%) から、延べ 24 件のご意見をいただきました。

以下の意見概要については、比較的多かった内容を抽出して、個人情報などを除くとともに、より分かりやすくなるようご意見の趣旨が変わらない程度に要約しています。

《主な意見》

- ・人口減少社会に向けて、甲府駅、甲府城を中心とするコンパクトなまちをつくらなければ、将来の甲府は破綻してしまうので、行政の強い指導を求める。
- ・中心商店街は高齢化、後継者不足、整備するための資金不足、まちづくりへの連携不足等が絡み合い、活気もなく衰退の一途となっている。これからは行政のリーダーシップにより、企画、提案、協議していただきたい。
- ・甲府市中心街活性化に向け、大胆かつ大規模に行政が関わっていくことが必要と考える。
- ・リニア中央新幹線は甲府市の発展より、東京・名古屋の大都市への集中が気になる。市内中心部への展開より、リニア駅のハブ機能を充実することの方が現実的だと思う。
- ・東京・名古屋から集客するイベントや祭りの開催、甲府のPRなどを行う。